

## 事業報告

学発番号：学19-010

事業名： 細胞分野実技講習会（第13回京都府細胞診ワークショップ）

日時： 令和元年6月1日（日） 13:00～17:00

場所： 京都保健衛生専門学校 視聴覚室ならびに第二実習室

主題1： 講義：記述式報告様式に沿った子宮内膜細胞診の見方

講師1： 小椋 聖子 大阪府済生会野江病院 病理診断科

主題2： 鏡検実習と総合討論:子宮内膜細胞診30例

講師2： 小椋 聖子 大阪府済生会野江病院 病理診断科

参加数： 総数：26名（京臨技会員：18名）

報告者： 久保 喜則（京都第一赤十字病院）

以下、講演内容など

今年で13回を迎える京都府細胞診ワークショップですが、子宮内膜細胞診の見方は細胞診ガイドラインに記述式報告様式が掲載され広く周知されるようになりました。今年、この領域での経験と知識の豊富な大阪府済生会野江病院病理診断科小椋聖子先生に、「記述式報告様式に沿った子宮内膜細胞診の見方」をテーマに講義ならびに鏡検実習をして頂きました。講義では、記述式報告様式の新しいカテゴリーである内膜異型細胞ATECと関連する病態および病変について詳しく解説して頂きました。鏡検実習では30症例の標本を1例につき4分間で鏡検しました。鏡検後の総合討論では、参加者からの質問形式で、難解例や疑問例の細胞所見の見方や考え方を解説して頂きました。

本研修会は、盛況に開催する事が出来ました。京都のみならず、他臨技会員の方や多くの細胞検査士の方々が参加され、実践に役立つ、大変貴重で有意義なものとなりました。この講習会で得た知識や経験を今後活かしていきたいと思えます。